

経 済 協 議 会 協 議 事 項

〔 日時 令和5年1月20日(金)
午前10時
場所 第二委員会室 〕

○ 所管事項の報告について

- 1 八戸市中小企業・小規模企業振興ビジョン（原案）について
- 2 誘致認定について
- 3 農業委員及び農地利用最適化推進委員の公募の実施について
- 4 令和4年八戸市中央卸売市場取扱高実績について
- 5 令和4年八戸市魚市場水揚げ実績について
- 6 令和5年度ダイヤ改正について

八戸市中小企業・小規模企業振興ビジョン（原案）について

1 策定理由

社会情勢の変化や新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受ける本市地域経済の再生・回復を図るとともに、将来にわたり本市中小企業・小規模企業が持続的な発展を遂げていくための将来ビジョンと、その実現に向けた道筋を示すもの。

2 策定スケジュール

（1）これまでの経過

- ・令和4年7月下旬～8月中旬 企業アンケートの実施
- ・令和4年9月1日（木） 第1回有識者懇談会
- ・令和4年10月25日（火） 第2回有識者懇談会

（2）今後の予定

- ・令和5年1月20日（金）～2月20日（月）パブリックコメント
※縦覧場所は次のとおり
 - ① 商工課
 - ② 庁舎案内（本館、別館）
 - ③ 各市民サービスセンター
 - ④ 南郷事務所
 - ⑤ 各地区公民館
 - ⑥ 図書館
 - ⑦ 市ホームページ
- ・令和5年3月末 完成予定

3 八戸市中小企業・小規模企業振興ビジョン(原案)の概要

【序 章】ビジョンの策定に当たって
<p>1. 趣旨 社会情勢の変化や新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受ける本市地域経済の再生・回復を図るとともに、将来にわたり本市中小企業、小規模企業が持続的な発展を遂げていくための将来ビジョンと、その実現に向けた道筋を示す。</p> <p>2. 位置づけ 八戸市中小企業・小規模企業振興基本条例に則り、「第7次八戸市総合計画」及び「八戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づくとともに国や県の関係法令等との関係性を考慮する。</p> <p>3. 進行管理 有識者等で構成される中小企業・小規模企業振興会議の評価を参考にしながら適切な進行管理を行う。また、重要課題に対応する取組については、第7次八戸市総合計画に基づき策定する未来共創推進戦略に位置付け、重点的に推進する。</p> <p>4. 目標時期 令和8年度頃の目指すべき姿を描く</p>
【第1章】経済活動の現状と環境の変化
<p>1. 八戸市の経済状況 ・市内総生産 ・産業構造 ・地域経済循環図 ・事業所数及び従業者数 ・起業、休業、廃業件数の推移 ・労働力人口の推移 ・有効求人倍率の推移 ・輸出入取引の推移</p> <p>2. 地域経済を取り巻く変化 ・新型コロナウイルス感染症の流行 ・人口減少と労働力不足 ・デジタル化 ・SDG s ・環境、エネルギー ・国際情勢による物価高騰と円安の進行</p> <p>3. 中小企業・小規模企業の現状 ・中小企業・小規模企業数の構成比 ・地域の中小企業 ・小規模企業の意識</p> <p>4. 中小企業・小規模企業が抱える課題 ・アフターコロナを見据えた事業活動の活性化 ・創業・事業承継の促進 ・人材確保と働き方改革の推進 ・Society 5.0を見据えたデジタル化の促進 ・カーボンニュートラルの実現に向けた取組の促進</p>
【第2章】八戸市における経済活動の目指すべき姿（ビジョン）
<p>「市民の暮らしを豊かにする中小企業・小規模企業が輝くまち八戸」 ウィズコロナ・アフターコロナ時代を迎える中であっても、創業支援や働き方改革により地域の活力となる創業者や意欲ある若者がいきいきと活躍し、中小企業・小規模企業が輝くまちを目指す。</p>
【第3章】ビジョンを実現するための施策
<p>八戸市中小企業・小規模企業振興基本条例に定める施策の基本方針に則り、8つの施策を推進する。</p> <p>1. 経営基盤の強化促進 2. 経営の革新及び創業の促進並びに創造的な事業活動の促進 3. 販路拡大の促進 4. 人材の確保及び育成支援 5. 事業承継の円滑化 6. 資金供給の円滑化 7. 地産地消等の推進による本市経済の循環促進 8. 関係者・関係機関の連携及び協力の促進</p>

(参考) 有識者懇談会構成員一覧 15名

所属	役職	氏名
八戸学院大学 (八戸学院地域連携研究センター)	地域経営学部 教授 (センター長)	堤 静子
東北税理士会八戸支部	支部長	名久井 信平
八戸金融団	会長	工藤 貴博
八戸商工会議所	事務局長	向井 俊晴
南郷商工会	事務局長	久保沢 金松
青森県中小企業団体中央会八戸支所	支所長	片山 貴洋
青森県信用保証協会八戸支所	支所長	河原木 勝
公益財団法人 21 あおもり産業総合 支援センター	プロジェクトマネー ジャー	田村 武智
株式会社八戸インテリジェント プラザ	常務取締役所長	松坂 洋司
合同会社マルカネ	代表社員	秋山 兼男
合同会社浜と山と	代表社員	蕨 加奈子
八戸公共職業安定所	所長	田村 修一
青森県商工政策課	課長代理	山下 佳子
有限会社イニシオ	代表取締役	中山 恵美子
cooking class HORI-MY	主宰	堀米 睦子

誘致認定について

令和4年11月22日付けで、スポーツ エンターテイメントSports Entertainment株式会社と事業所開設に係る基本協定を締結し、誘致企業に認定しました。

(1) 会社の概要

- ① 本社所在地 大阪府大阪市北区西天満六丁目3番16号
梅田ステートビル10F
- ② 代表者 代表取締役 なかがわ よしまさ 中川 喜正
- ③ 設立年月日 平成30年1月11日
- ④ 資本金 100万円
- ⑤ 従業員数 26名（令和4年12月末現在）
- ⑥ 事業内容 コールセンター事業、コンサルティング事業、
スポーツビジネス支援事業等

(2) 立地計画の概要

- ① 事業所名 Sports Entertainment株式会社八戸支店
- ② 所在地 八戸市十八日町7番地 ジブラルタ八戸ビル7階B
- ③ 操業開始 令和4年12月
- ④ 従業員数 50名（うち地元出身者49名）
- ⑤ 事業内容 コールセンター事業、BPO事業

農業委員及び農地利用最適化推進委員の公募の実施について

現任の農業委員及び農地利用最適化推進委員が、令和5年7月14日に任期満了となることから、次期農業委員及び農地利用最適化推進委員の公募を実施する。

1 農業委員（任期：令和5年7月15日～令和8年7月14日）

定数	備 考
19人	<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者が定数の過半数を占めること ・利害関係を有しない者が1人以上含まれること

2 農地利用最適化推進委員（任期：令和5年8月総会日～令和8年7月14日）

区域名	定数	備 考
市川・下長	4	市川(2)、下長(2)
上長・豊崎	4	上長(2)、豊崎(2)
館・是川	4	館(2)、是川(2)
大館・南浜	4	大館(2)、南浜(2)
南郷	6	島守(3)、中沢(3)
計	22人	

3 公募の概要

農業委員及び農地利用最適化推進委員の公募は、同時に実施する。

- 公募期間 令和5年2月1日（水）から2月28日（火）までの28日間
- 受付場所 農林水産部農政課・農業委員会事務局（市庁別館5階）
- 周知方法
 - ・「広報はちのへ 令和5年2月号（1/20発行）」に記事掲載
 - ・農業委員会が発行する「はちのへのうぎょうだより 令和5年新年号（1/10発行）」に記事掲載
 - ・市ホームページにお知らせ及び募集要項掲載

4 公募の実施後のスケジュール

	農業委員	農地利用最適化推進委員
令和5年4月	選考委員会（候補者決定）	
6月	6月議会（選任同意議案）	
7月18日	任命・組織会（会長等選出）	選考
8月		委嘱

令和4年八戸市中央卸売市場取扱高実績について

- ※八戸市中央卸売市場青果部取扱高実績 1ページ
- ※八戸市中央卸売市場花き部取扱高実績 2ページ
- ※令和4年東北各中央卸売市場取扱状況(※速報値を含む) 3ページ

八戸市中央卸売市場 青果部 取扱高実績

1. 取扱高 期間： 令和4年1月 から 12月まで (開市日数 255日)
 数量： 98,911 t (前年比 93.1%)
 金額： 21,828,884 千円 (前年比 98.2%)

2. 月別取扱高

上段:数量(t)と前年比 下段:金額(千円)と前年比

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年取扱高
野菜	4,730	5,197	5,941	6,208	6,011	7,721	8,229	7,066	8,519	10,712	9,391	6,275	86,000	92,163
	111.5%	84.4%	85.1%	101.6%	97.2%	100.7%	81.9%	94.8%	94.3%	102.4%	90.3%	84.5%	93.3%	
	1,209,275	1,377,303	1,525,422	1,353,328	1,382,929	1,371,906	1,519,462	1,426,154	1,637,015	1,951,577	1,533,267	1,453,171	17,740,809	18,091,880
	92.9%	76.2%	93.6%	94.5%	105.3%	100.6%	104.5%	105.5%	93.0%	124.7%	96.6%	95.3%	98.1%	
果実	986	1,080	1,043	876	672	628	772	1,123	1,022	1,206	1,533	1,608	12,549	13,649
	100.8%	81.0%	89.5%	90.7%	81.9%	82.5%	70.2%	96.9%	102.0%	104.4%	100.2%	95.8%	91.9%	
	290,251	323,246	353,188	300,069	262,249	279,985	308,492	361,269	283,928	310,899	384,293	441,846	3,899,715	3,944,073
	128.0%	105.0%	105.7%	110.7%	99.7%	101.1%	79.8%	94.8%	102.4%	106.9%	89.8%	88.3%	98.9%	
その他 (野菜・果実加工品、鳥卵、その他)	33	35	47	32	39	18	20	20	21	25	34	38	362	418
	86.8%	84.4%	106.3%	118.1%	77.6%	72.1%	73.5%	83.9%	98.9%	67.2%	91.3%	84.9%	86.6%	
	17,493	19,986	21,210	12,725	15,114	9,070	9,756	12,424	10,950	12,564	17,079	29,989	188,360	204,045
	98.0%	92.6%	93.6%	110.4%	76.4%	86.0%	74.0%	90.9%	95.7%	87.6%	97.9%	99.8%	92.3%	
合計	5,749	6,312	7,031	7,116	6,722	8,367	9,021	8,209	9,562	11,943	10,958	7,921	98,911	106,230
	109.3%	83.8%	85.8%	100.2%	95.3%	99.0%	80.7%	95.1%	95.1%	102.5%	91.6%	86.6%	93.1%	
	1,517,019	1,720,535	1,899,820	1,666,122	1,660,292	1,660,961	1,837,710	1,799,847	1,931,893	2,275,040	1,934,639	1,925,006	21,828,884	22,239,998
	98.1%	80.5%	95.6%	97.1%	104.0%	100.6%	99.1%	103.1%	94.3%	121.6%	95.2%	93.6%	98.2%	

3. 入荷及び価格の状況

〔野菜〕 コロナ禍に伴う外食需要の低迷を受け、県内主力のごぼう・長いも・にんにくは、昨年の高値反動も相まって厳しい相場展開となった。特にごぼうは在庫を抱えてしまうほど荷動きは鈍化した。一方、大根・キャベツ・レタス等においては、産地での大雪に伴う生育停滞や凍害が多くみられ、数量の確保が難しくなったため、相場は上昇した。春先、気温が上がり始めると多くの品目で生育が進み、これまで生育遅延傾向であった茄子・トマト・ピーマン等の果菜類では順調な入荷が続いた。大根・ほうれん草・ねぎ・レタス等では、生育状況に伴う入荷量により価格の高低はあったものの数量減の高値基調が続き、多くの品目で平均単価を上回る取引が続いた。7～8月にかけて降り続いた記録的な長雨の影響から大根・人参・ごぼう・長いも等の根菜類では、生育遅れや品質不足が多く、依然として入荷量は少なかつたため引き合い強く、特に大根・人参では前年比3割を上回る価格での販売となったが、長いもは荷動き自体は良いもののA品単価が伸び悩んだ。にんにくは一年を通し十分な入荷量はあったものの加工物が多く、平均単価を下回る厳しい取引が続いた。12月は高気圧に覆われたため全国的に好天に恵まれ、多くの品目において順調に生育が進んだが、月中旬以降は強い冬型の気圧配置となる日が多かつたため気温が大幅に下がり、それまで前進していた大根・キャベツ等の大型野菜を中心に入荷量は減少した上に年末年始の需要期もあり、平年よりやや高値での取引となった。その他、きゅうり・ピーマン等の果菜類も寒波の影響を受け入荷量少なく高値となった。ごぼう・長いもは、長雨の影響が著しく、昨年比2～3割減の入荷となった。一方、生椎茸・しめじ等の菌茸類は、冬場の鍋需要もあり堅調な荷動きとなった。

〔果実〕 県内産りんごは数量少なく、小玉・中玉を中心に荷動きは活発であり、高値疲れが見られるほど高値基調が続いた。静岡三ヶ日産の青島みかんは、前進化により冬期の入荷量は前年に比べ激減した。春いちごは寒波の影響で入荷量少なく、前年比2割ほどの単価高となった。初夏を過ぎ、メロン、西瓜の出回り時期となったが、7～8月にかけて降り続いた記録的な長雨の影響から十分に生育が進まず小玉傾向、一部産地では水腐れ等の不良品も多く発生したため、この品目の数量・金額ともに伸びず壊滅的な打撃となった。秋口9月になると梨・柿・りんごの入荷量が増え始め、秋果実の本格販売期を迎えた。スチューベンやシャインマスカットの荷動きも良好だった。輸入果実では、キウイフルーツが主力となり、パインアップルやオレンジは価格に値頃感があり荷動き良く堅調な取引が続いた。バナナはコロナ禍による人手不足から入荷量減の傾向が続き安定せず、品質不良も多くみられた。12月、県内産ではサンふじ・スチューベン・いちごが、県外産では温州みかん・いちご・干し柿が主力の販売となった。サンふじは高品質のものが少なく、ツル割れや着色不良が多く見られた。温州みかんでは、静岡県産を除き、中生・普通ともに数量は少なかつたが、柑橘類全体では前年並みから微増であった。いちごは、県内外産ともにクリスマス需要に向けて収穫が進んだものの着色遅れもあり、年末の入荷量としてはそれほど多くはなかつた。輸入果実は、円安の影響から軒並み単価高となり荷動きは鈍化した。

八戸市中央卸売市場 花き部 取扱高実績

1. 取扱高
 期 間 : 令和4年1月から12月まで (開市日数 244日)
 数 量 : 11,757 千本 (前年比 95.0%)
 金 額 : 1,148,817 千円 (前年比 104.2%)

2. 月別取扱高

上段:数量(千本・千鉢・千個)と前年比 下段:金額(千円)と前年比

区 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計	前年取扱高
切 花	594	671	1,477	848	841	737	734	1,392	1,080	653	663	1,066	10,756	11,236
	104.0%	93.5%	93.9%	101.8%	96.4%	98.1%	91.5%	102.4%	98.9%	97.5%	88.8%	85.2%	95.7%	
	56,456	56,898	133,464	75,187	77,789	61,131	65,180	134,984	104,161	71,446	66,847	110,463	1,014,006	948,787
	130.1%	109.2%	97.6%	119.2%	121.7%	100.5%	105.0%	113.7%	107.2%	117.4%	94.4%	92.8%	106.9%	
鉢 物	4	6	11	14	12	7	4	1	5	7	9	9	89	112
	51.2%	66.6%	86.3%	78.9%	97.4%	66.9%	52.4%	49.8%	93.2%	68.3%	97.3%	109.6%	79.5%	
	1,870	3,255	6,007	8,654	5,724	4,684	3,090	2,235	2,805	3,707	6,052	6,069	54,152	63,076
	62.6%	81.6%	94.0%	88.8%	81.0%	90.2%	59.6%	92.8%	89.1%	74.6%	98.2%	104.1%	85.9%	
その他 (枝物、観葉植物、 苗木、植木、加工 品、その他)	33	123	67	127	140	109	44	25	36	44	43	121	912	1,026
	118.5%	111.7%	87.3%	92.7%	82.0%	96.0%	102.0%	85.8%	94.5%	77.4%	66.4%	77.1%	88.9%	
	2,338	4,863	4,583	13,055	11,702	9,466	4,360	2,661	4,157	5,240	4,228	14,006	80,659	91,014
	110.4%	93.8%	82.9%	82.4%	81.9%	95.2%	91.0%	92.7%	102.6%	88.4%	73.2%	95.4%	88.6%	
合 計	631	800	1,555	989	993	853	782	1,418	1,121	704	715	1,196	11,757	12,374
	104.1%	95.7%	93.6%	100.1%	94.1%	97.5%	91.7%	102.0%	98.7%	95.6%	87.2%	84.5%	95.0%	
	60,664	65,016	144,054	96,896	95,215	75,281	72,630	139,880	111,123	80,393	77,127	130,538	1,148,817	1,102,877
	125.1%	106.1%	96.9%	109.3%	111.7%	99.1%	100.8%	112.8%	106.5%	112.0%	93.2%	93.5%	104.2%	

3. 入荷及び価格の状況

〔切花〕

傾向としては「数量減の高値基調」となった一年であった。

冬期から春先にかけては、寒波と日照不足の影響から国産品の多くが開花遅延となったため全国的に流通量は少なく、また輸入品の入荷も不安定であったため、品目によっては引き合い強く高値基調の取引が続いた。そのような状況に加え、バレンタイン・桃の節句・卒業式・春彼岸・母の日等のイベント効果も相まって、スイートピーやスプレー菊、カーネーション等、イベント用の切花をはじめ多くの花が取引された。

6月になると、「父の日需要」としてヒマワリやガーベラ等、黄色い花が多く入荷され、特にヒマワリは、品種改良が進んだおかげで咲き方や色に多彩な表情を見ることができるようになり売れ行き好調だった。

7～8月にかけて降り続いた記録的な長雨と日照不足の影響からお盆用切花の開花が遅れ数量減となったため、依然として高値基調で推移した。9月も台風被害の影響から全国的に単価高が続いたが、高値疲れもあってなのか秋彼岸用菊類の引き合いは例年に比べるとやや控えめであった。

10月からは栃木県産のカーネーションの入荷が始まり、品質も良く、年内一杯やや高値で取引された。バラは、国産品、輸入品ともに入荷量が少ない傾向であったため、やや高値基調が続いた。菊類では、一輪菊は愛知県から、小菊は沖縄県からの入荷が本格化したため、安定した入荷量のもと、平年並みの価格での取引が続いた。

〔鉢物等〕

1月から3月にかけての冬期は、贈答用の胡蝶蘭が中心で数量・価格ともに安定した取引が多かった。

4月になると、紫陽花やガーデニング用の苗木が例年よりは高値で取引された。「八戸市緑化まつり」用として植木取引の動きも良かった。しかし、一部品目では生産コスト増の影響から生育環境が十分ではないものもあり、品質にバラつきが見られた。

例年9月下旬から入荷が始まる葉牡丹は、7～8月にかけて降り続いた記録的な長雨と日照不足の影響から生育が遅れ入荷時期が先送りとなったが、12月には最盛期を迎えた。11月からはクリスマス用の鉢物として、シクラメンやポインセチアもやや高値で取引され、特に小さい鉢の方が引き合いが強かった。

令和4年東北各中央卸売市場取扱状況（※速報値を含む）

【青果部】

数量					
令和4年 順位	市場名	令和4年 (トン)	令和3年 (トン)	前年比 (%)	令和3年 順位
1	仙台市	131,878	147,040	89.7	1
2	八戸市	98,911	106,230	93.1	2
3	青森市	59,083	61,075	96.7	3
4	盛岡市	53,627	58,640	91.5	4
5	いわき市	47,056	48,903	96.2	5
(参考)	秋田市	40,386	39,976	101.0	6

金額（税込み）					
令和4年 順位	市場名	令和4年 (千円)	令和3年 (千円)	前年比 (%)	令和3年 順位
1	仙台市	34,951,124	36,740,855	95.1	1
2	八戸市	21,828,884	22,239,998	98.2	2
3	いわき市	14,983,791	14,697,675	101.9	3
4	盛岡市	13,802,383	14,005,720	98.5	4
5	青森市	11,666,497	11,715,037	99.6	5
(参考)	秋田市	11,388,362	10,887,577	104.6	6

【花き部】

数量					
令和4年 順位	市場名	令和4年 (千本等)	令和3年 (千本等)	前年比 (%)	令和3年 順位
1	仙台市	92,522	100,037	92.5	1
2	秋田市	25,661	27,211	94.3	2
3	八戸市	11,757	12,374	95.0	3
(参考)	青森市	8,165	9,492	86.0	4
	いわき市	6,938	7,693	90.2	5

金額（税込み）					
令和4年 順位	市場名	令和4年 (千円)	令和3年 (千円)	前年比 (%)	令和3年 順位
1	仙台市	8,434,730	8,266,704	102.0	1
2	秋田市	2,008,189	1,940,032	103.5	2
3	八戸市	1,148,817	1,102,877	104.2	3
(参考)	青森市	757,662	773,534	97.9	4
	いわき市	590,369	584,450	101.0	5

- ・数値(基準日は12月末現在)は、八戸市が東北管内の各中央卸売市場に対し行った調査で得たもの。
- ・数量はトン未満、金額(税込み)は千円未満を四捨五入し集計したもの。
- ・速報値は、今後、変動する可能性があること。
- ・秋田市の青果部、及び青森市、いわき市の花き部は、地方卸売市場に転換したが、参考として掲載するもの。

令和 4 年八戸市魚市場水揚げ実績について

※八戸市魚市場水揚げ実績 1 ページ

※令和 4 年全国主要市場水揚げ表 2 ページ

八戸市魚市場水揚げ実績（令和4年1月1日～12月31日）

令和5年1月20日現在

- 開場日数は、280日（前年 280日）
- 水揚げ数量は、28,876トン（前年比65%、15,596トン減）
- 水揚げ金額は、9,981,585千円（前年比115%、1,303,784千円増）

主要漁業別水揚げ高

漁業別	区分	数量（トン）					金額（千円）					単価（10kg当）（円）			
		令和4年 (A)	構成比 (%)	令和3年 (B)	比較		令和4年 (a)	構成比 (%)	令和3年 (b)	比較		令和4年 (α)	令和3年 (β)	比較	
					A-B	A/B*100 (%)				a-b	a/b*100 (%)			α-β	α/β*100 (%)
いかつり	近海	422	1	254	168	166	320,629	3	220,275	100,354	146	7,598	8,672	△ 1,074	88
	船凍スルメイカ	1,516	5	2,353	△ 837	64	1,677,901	17	1,636,241	41,660	103	11,068	6,954	4,114	159
	船凍アカイカ	2,520	9	3,324	△ 804	76	2,461,037	25	1,556,474	904,563	158	9,766	4,683	5,083	209
	その他	8	0	0	8	0	6,353	0	46	6,307	0	7,941	0	-	-
	計	4,466	15	5,931	△ 1,465	75	4,465,920	45	3,413,036	1,052,884	131	10,000	5,755	4,245	174
大中型旋網	三陸	10,424	36	16,058	△ 5,634	65	651,013	7	1,122,404	△ 471,391	58	625	699	△ 74	89
	遠海	2,218	8	10,985	△ 8,767	20	167,717	1	453,792	△ 286,075	37	756	413	343	183
	船凍	0	0	0	0	0	0	0	127	△ 127	0	0	0	-	-
	計	12,642	44	27,043	△ 14,401	47	818,730	8	1,576,323	△ 757,593	52	648	583	65	111
機船底びき網	大型	1,306	5	887	419	147	522,676	5	475,133	47,543	110	4,002	5,357	△ 1,355	75
	中型	8,235	29	6,478	1,757	127	3,020,395	30	2,047,993	972,402	147	3,668	3,161	507	116
	小型	196	0	204	△ 8	96	96,730	1	60,978	35,752	159	4,935	2,989	1,946	165
	計	9,737	34	7,569	2,168	129	3,639,801	36	2,584,104	1,055,697	141	3,738	3,414	324	109
その他		2,031	7	3,929	△ 1,898	52	1,057,144	11	1,104,348	△ 47,204	96	5,205	2,811	2,394	185
水揚げ総数		28,876	100	44,472	△ 15,596	65	9,981,595	100	8,677,811	1,303,784	115	3,457	1,951	1,505	177

令和4年全国主要市場水揚表

令和5年1月20日現在

水揚数量					水揚金額				
順位 (昨年)	市場名	数量 (昨年)	対前年比		順位 (昨年)	市場名	金額 (昨年)	対前年比	
1 (1)	銚子	237,028 (280,413)	84.5		1 (1)	焼津	46,750,891 (41,332,460)	113.1	
2 (2)	釧路	172,554 (204,499)	84.4		2 (2)	福岡	42,716,403 (37,771,812)	113.1	
3 (3)	焼津	118,697 (151,062)	78.6		3 (3)	長崎	30,107,400 (28,663,956)	105.0	
4 (6)	境港	104,947 (93,829)	111.8		4 (4)	銚子	22,848,405 (27,303,006)	83.7	
5 (5)	石巻	103,425 (98,399)	105.1		5 (7)	境港	21,692,313 (17,765,838)	122.1	
6 (4)	長崎	98,603 (100,222)	98.4		6 (5)	三崎	21,190,556 (19,653,008)	107.8	
7 (10)	松浦	84,710 (59,489)	142.4		7 (8)	稚内	18,636,419 (16,660,003)	111.9	
8 (8)	枕崎	73,220 (68,476)	106.9		8 (9)	石巻	18,553,145 (16,260,933)	114.1	
9 (9)	稚内	60,678 (66,209)	91.6		9 (12)	枕崎	17,573,233 (11,651,668)	150.8	
10 (11)	福岡	58,057 (59,014)	98.4		10 (10)	根室	14,447,471 (15,707,744)	92.0	
11 (7)	気仙沼	45,967 (75,199)	61.1		11 (6)	気仙沼	13,817,815 (18,263,282)	75.7	
12 (13)	根室	40,510 (44,005)	92.1		12 (13)	松浦	13,588,987 (9,480,554)	143.3	
13 (14)	女川	29,592 (41,685)	71.0		13 (11)	下関	11,891,665 (13,072,820)	91.0	
14 (12)	八戸	28,875 (44,472)	64.9		14 (14)	釧路	10,537,107 (8,860,949)	118.9	
15 (16)	唐津	26,955 (22,965)	117.4		15 (15)	八戸	9,981,595 (8,677,811)	115.0	

数量:トン 対前年比:%

金額:千円 対前年比:%

※ 当データは八戸市が22市場(25団体)に対して調査を実施したものの数量はトン未満、金額は千円未満を切り捨てて集計金額について、根室、焼津、松浦は税抜き、その他は税込み。

焼津の値は小川を含んだもの

下関の値は11月末までのもの

令和5年度ダイヤ改正について

1 改正の理由

令和5年度のダイヤ改正は、運行の効率化を図りながら、既存路線の運行本数及び時刻の見直しを行うものである。

なお、ダイヤ改正に当たっては、市内各学校へ要望聞き取り調査を行った上で、利用者の利便性を高めるよう編成した。

(営業規模)

	仕 業 数 (1 仕業：乗務員 1 人の 1 日の仕事量)		前年度比
	令和4年度	令和5年度	
平 日	108	108	0
土曜日	100	100	0
日祝日	87	87	0

2 改正予定日

令和5年4月1日（土）

3 主な改正内容

- (1) 市内各学校の登下校に合わせた時刻変更
市内14校へ要望調査を行い、登下校時の利便性向上を図る。
- (2) 続行便ダイヤの反映
続行便として運行している便の一部を通常ダイヤとする。
- (3) バス停名称の変更

名称変更	北日本造船前（旧名称：アクロスプラザ前）
------	----------------------

4 利用者への周知

- (1) 広報はちのへ（3月号）、交通部ホームページに掲載
- (2) バス停留所、バス車内、待合所、定期券販売窓口にお知らせ掲示
- (3) ポケットフレンド等の時刻表配布